

栃木中央地域包括支援センター

日 時： 令和6年11月19日（火）午後2時10分～2時30分

会 場： 栃木市役所

事例数： 1ケース（令和6年5月21日検討した事例の振り返り）

参加者数： 10名

〔事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名〕

原因不明の呼吸苦などの訴えがある 83 歳女性

〈目標〉1日：①生活動作や移動は無理なく、転倒しないよう留意する。整理整頓も転倒予防として行う。

②日課はゆるく、やることを詰め込まないでマイペースに過ごす。

③セルフリハビリも気持ちいい程度に行う。

1年：心身機能を維持し、外出や楽しみを続けられる。

利用サービス：訪問介護、福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

支援方針：①主治医や関係者と情報共有し、医療情報を整理する。

②オーラルフレイル進行予防の為、歯科検診や自宅での口腔体操を促す。

③本人の興味、関心のあることを掘り下げ、メンタルの安定が図れるよう支援する。

④外にも意識が向くように、インフォーマルサービスも情報提供していく。

助言内容：①呼吸苦の原因や認知症があるかなど主治医の意見を聞き、第三者が情報を整理して支援者で共有できると良い。また色々な情報を集めて主治医に送り、情報共有してはどうか。

②食べこぼし、滑舌が悪いのはオーラルフレイルが考えられる。歯科で検査し、家庭でも口腔体操などを行った方が良い。また、吸入器は黒毛舌になりやすい。

③できないことではなく、残存機能やできている事に着目し、本人がやりたい事を掘り下げてリハビリができると良い。

④ふれあい在宅サービスや傾聴ボランティアの利用による付き添いや交流、シニアクラブへの参加での地域貢献などで、本人の生活意欲向上に繋げる。

《支援結果・状況》

①未達成：思った通りにならないと医療機関を転々として定まらず、医療情報の詳細が掴み切れていない。

②未達成：歯科受診の意識はあるが、他に気になることを優先してしまう。徒歩圏内の歯科医院を検討中。

③達成：友人の勧めでスポーツジムに通い、リハビリを継続している。大変活気があって本人に合っている。

④未達成：インフォーマルサービスの利用には至っていない。家族が片づけを手伝ったが、片付の話をするると体調不良を訴える。